

誠実に生きる女性・時子を謳う～琵琶語り「宮尾本・平家物語」



日時： 9月24日(土) 13:30～14:30
会場： 東京富士美術館

出演： 田原順子(琵琶語り)
西川浩平(笛)

内容： NHK大河ドラマ「義経」の原作『宮尾本・平家物語』をもとに構成。
平家を支え運命を共にした女性達。とりわけ自らの生き方を貫き、誠実に懸命に生きた「時子」を謳いあげます。
世界的に活躍する琵琶奏者・田原順子の琵琶と語りを堪能ください。

曲目： 秋の巻より 直垂(ひたたれ) …時子との結婚
冬の巻より 舷(ふなばた) …時子入水、壇の浦

田原 順子(筑前琵琶) たはら●じゅんこ

故・山田美喜子、山崎旭萃(人間国宝)両師のもとで筑前琵琶を習得。
1982年琵琶楽コンクール第一位受賞。以降、国内はもちろん世界各地でコンサート活動を展開。「平家物語」を代表とする伝統的な語り物はもちろん、現代人の感覚にあった多くの創作語り物や現代音楽を模索し、演奏し続けている。とかく琵琶語りの題材が、軍紀物でほとんど男性主人公の話が多い中、もっと「身近な一般人、なんでもない普通の人びと」、特に「女性達が、誠実に懸命に生きている姿」に光をあてた創作活動をライフワークとし、小さなホールで客と語り合いながらのコンサートを長年続けている。

他のジャンル・楽器とのコラボレーションも活発で、狂言、ピアノや笛をはじめ、フルート・ハーブ・ギター・チェンバロ等々と共演、創作も手がけ、世界初演の作品も多数。リサイタルは、芸術祭参加で、85年・93年・95年の3回開催。72年日本音楽集団に入団以来、ヨーロッパ・アメリカ・アジア・アフリカ等、世界各国で数々演奏、カーネギーホール・リンカーンセンター・クイーンエリザベスホールなど主要ホールの舞台も多数経験、いずれも好評を得る。79年音楽之友社賞・レミーマタン音楽賞、98年松尾芸能賞、90年モービル音楽賞を受賞。2003年より、宮尾登美子氏書き下ろしの「平家物語」は、平成時代に生きる女性の目から見た秀作であり、同じ時代に生きる琵琶演奏家が「琵琶語り」に創る事は、意義のある事と考え、以降、順次作品を発表。2005年2月、CD『宮尾本・平家物語』(全8章)をリリース(キングレコード)し、連続コンサート開催中。2005年NHK教育テレビ「いろはに邦楽」に出演。「琵琶」4回シリーズで好評を得、4月、6月に続き、8月の3回にわたり再々放送される。(山田邦子さんの司会による邦楽・邦楽器の紹介番組)



西川 浩平(横笛・フルート) にしかわ●こうへい

第1回オーストラリア国際フルートコンクール第3位入賞。大阪フィルハーモニー交響楽団にて第一奏者として活動後、日本の横笛奏者として日本音楽集団に入団し現在に至る。1987～90年、歌舞伎公演に従事し、主に市川猿之助、中村勘九郎、中村時蔵の公演に参加。富田勲作曲「源氏幻想交響絵巻」、ディエゴ・ルズリアガ作曲「篠笛と管弦楽の為のコンチェルト」などを初演し、内外の交響楽団と共演する。また自身のグループ「ニシカワ・アンサンブル」を結成し、カナダ・アメリカを中心に毎年公演を続けている。

CD「Flutist from the East」Vol.1～4をライブノーツよりリリース。著書として「邦楽おもしろ雑学事典」「黒御簾の内から」を出版している。昭和音楽大学、洗足学園音楽大学、桐朋学園芸術短期大学にて指導にもあたっている。

東京富士美術館 TOKYO FUJI ART MUSEUM